

第 5 学 年 社 会 科 学 習 指 導 案

下関市立角倉小学校 教諭 川上 昌秀

求める子供の姿

「比べる」・「つなぐ」ことで問いを追究し、社会的な見方・考え方を鍛える子供

1 小単元名 海運とコンテナ輸送 【全1時間】

2 小単元について

(1) 単元設定の意図

小学校学習指導要領解説社会編に示された社会科の目標は次のとおりである。

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。(以下、略)

今回、特に注目したのは「グローバル化する国際社会」という文言である。周知のとおり2017年改訂で第5学年において貿易と運輸の学習内容が拡充された。これらの学習に広がりや深まりをもたせるには「グローバル化する国際社会」を踏まえ、世界的な視野から学びを仕組む必要があると考える。しかしながら、どうしても貿易の学習における「日本はA国から〇〇を輸入し、B国に△△を輸出している」といった国同士の関係性の扱いばかりが手厚くなり、運輸の観点が置き去りにされがちである。そこで本小単元においては海運、特に外航海運（コンテナ輸送）を学習材とすることで、グローバル化する国際社会を支えている海運の意味理解を促し、運輸に関わる社会認識を深めることができないかと考え授業を構想した。

(2) 教材について

本小単元は、コンテナ輸送の仕組みや役割について追究することを通して、人々の生活を支える海運の働きを捉え、海運に関する様々な社会事象を追究したいという問題意識を高める学習である。本校は関門海峡に隣接した彦島に位置しており、子供たちは海峡を通航する1日およそ500隻もの外国や国内を行き来する様々な種類の船の様子を目の当たりにしている。加えて、エジプトのスエズ運河で日本の船主会社が所有する大型コンテナ船の座礁事故が発生し、世界の物流への影響を懸念する声が聞かれたことや、某ハンバーガー店のフライドポテトがコンテナ船での輸入の遅れにより不足し、Sサイズの販売に限定されてしまったことは記憶に新しく、海運に関わる報道に触れる機会は例年よりも多くあったと思われる。とは言え、子供たちにとっては道路を走っているトラックほど洋上を航行している船は身

近な存在ではなく、ましてや「コンテナが世界を変えた」と言わしめるほどにコンテナ輸送が国際貿易の成長を促進させたことについてはほとんど知らないのが現状である。これらを踏まえ、本小單元においては子供たちに身近であろうフライドポテトの不足を入り口としてコンテナ輸送への興味や関心を高めつつ、写真資料やデータを調べたり、分かったことを共有したりしながらコンテナが世界の物流や人々の生活を変えた秘密を紐解いて行けるようにした。そうすることで、子供たちはコンテナによって「たくさん・何でも・安く・効率的」に物を運ぶことができるようになったのだという見方・考え方を獲得することができるはずであるし、この見方・考え方はコンテナ輸送だけに限らず海運全般、ひいては運輸というものの認識を深めるために重要であると考えられる。

なお、本小單元は日本海事広報協会が発行している副教材「海運と船と港の役割（下関版・全国版）」「スゴイぞ！コンテナ船」を活用した授業の一事例として提案していることから、教科書における貿易と運輸の学習に関連させた発展的な扱いとし、既存の單元に組み込むことはせず別個に小單元として構成している。

（3）指導について

子供たちは、コンテナが世界を変えた秘密について、教師の提示した資料をもとに集めた様々な情報からコンテナ輸送の仕組みと人々の生活のつながりについて考えていく。その過程で、自ら調べた社会的事象だけでなく、既習事項や仲間が調べた事実を比較し、関連付けなければコンテナ輸送が世界の貿易において果たしている役割について考えを広げ、深めることは難しいと考える。

そこで、指導にあたっては以下のような支援を具体化し、本小單元で求められるねらいの達成を図りたい。

- 導入でフライドポテト不足のネット記事や、船による輸入が無くなった場合のコンビニの商品棚の様子を提示し、コンテナ輸送と生活とのつながりを紹介することで子供が強い問題意識をもって主体的に学びに向かうことができるようにする。
- 資料を活用して問題解決を図る際には、「コンテナ輸送の登場で増やせたもの・減らせたものには何があるか」と調べる視点を明確に提示しておくことで、どのように資料を解釈したのか説明し合うことができるようにする。
- 個々の子供が調べた情報を仲間と比べたり、関連付けたりするよう促すことで、コンテナ輸送の仕組みの特徴が世界の物流と人々の生活を支えていることを仲間との対話の中で見出していくことができるようにする。
- 学習のまとめの場面では、「コンテナが世界を変えた！」という見出しに続くように記事にまとめるようにしたり、板書にあるキーワードを活用するよう促したりすることで、何を学んだのかを焦点化させることができるようにする。

3 目標

- コンテナ輸送の仕組みやコンテナ登場前後での貿易の変化について資料をもとに自ら進んで調べ、それぞれの社会的事象の関連に気付くことで、人々の生活を支える海運の働きについて理解できるようにする。

- コンテナ輸送の仕組みや役割について調べたことを仲間と共有することで、コンテナ輸送が人々の生活を支えていることを適切に表現することができるようにする。

4 評価規準

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
○コンテナ輸送の特色を示した資料を活用しながら、必要な情報を集め、コンテナ輸送の仕組みや世界の貿易と人々の生活を支える重要な役割を果たしていることを理解している。	○世界の物流を成長させ、人々の生活を豊かに変えたコンテナ輸送がどのような役割を果たしてきたのかを具体的に考え、表現している。	○コンテナ輸送の仕組みに関心をもち、進んで調べたり仲間と考えを共有したりしながら、海運に関する社会的事象についての問題意識を高めている。

5 本時案 (1/1) 令和4年1月26日(水) 2校時 5年1組教室

- (1) ねらい コンテナ輸送が世界を変えたのはなぜか資料をもとに調べたり仲間と考えを共有することで、コンテナ輸送の仕組みと働きを理解し、海運に関する様々な社会的事象についての問題意識を高めることができるようにする。

(2) 学習過程

学習活動・学習内容	子供の意識	○教師の支援
<p>1 某ハンバーガー店のフライドポテト不足をきっかけにコンテナ輸送が世界の物流と人々の生活を支えていることに気づき、関心をもつ。(10分)</p> <p>〈コンテナ輸送と人々の生活のつながり〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フライドポテト不足に関わるネット記事とフライドポテトの値段 ・日本の輸出入の99.6%は船での海上輸送に頼っていること ・航空貨物とコンテナ船の国際輸送量の比較データ ・コンテナの普及による全世界の輸出額増大 	<ul style="list-style-type: none"> ・Sサイズのフライドポテトしか買えなかったよ。 ・バンクーバーからのコンテナ船が遅れたからこんなことが起きたんだね。 ・もしも船による輸入がなかったら私たちの生活はどうなってしまうのかな。 ・コンビニの商品棚が空っぽになってしまっているよ。それほど船での輸送に頼っているということだね。 ・航空貨物よりも圧倒的にコンテナ船の輸送量の方が多いね。 ・コンテナが普及してから世界の輸出額が10倍以上に増えているね。 	<ul style="list-style-type: none"> ○フライドポテト不足に関わる新聞記事を提示することで、身近な食べ物とコンテナ輸送のつながりに目を向けることができるようにする。 ○「もしも船による輸入が無くなったらどうなるか」予想させた上で、コンビニの商品棚が空になってしまう様子とその根拠となる資料を提示することで、海運が人々の生活を支えていることに気づくことができるようにする。 ○コンテナ普及以前の輸出額と2019年の輸出額を比較したグラフを提示することで、コンテナが物流や人々の生活に与えた影響の大きさを知ることができるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">「コンテナが世界を変えた」と言われるひみつを解き明かそう。</div>		

<p>2 「コンテナが世界を変えた」と言われる秘密についてコンテナ輸送の特色を示した資料から調べ、分かったことを仲間と共有し合う。(20分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテナの規格や種類 ・大型コンテナ船の大きさや形、積載量 ・コンテナ登場による荷役の移り変わり(人手→ガントリークレーン)と積み込み・積み下ろし作業時間、コストの圧縮 	<p>・「コンテナが世界を変えた」と言われるのはどうしてかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテナの大きさは世界で決められているから、たくさん積み込むことができるんだね。 ・コンテナにはいくつか種類があって何でも積み込んで運べるようだ。 ・ガントリークレーンでコンテナの積み込みや積み下ろしをするのだね。自動化されているから、昔のように人の力に頼っていた頃に比べれば作業時間はかなり減っているはずだ。 ・人手が減った分、積み込みと積み下ろしにかかっていたお金も少なくて済むようになったようだね。ということは、物の値段が安くなったということかな。 	<p>○コンテナ登場前後の変化がわかる資料を複数提示し、コンテナ登場によって「増やせたもの・減らせたものには何があるか」という視点で調べさせることで、「たくさん・何でも・安く・安全に・効率的に」物を運ぶことができるコンテナの特徴を理解し説明することができるようにする。</p> <p>○仲間との対話を通して収集した情報を共有したり関連付けたりすることで、輸送にかかる時間やコスト、安全性といった直接的には見えない部分を見出すことができるようにする。</p>
<p>3 本時の学びを活用したり振り返ったりしてまとめる。(15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテナ船と自動車専用船、木材専用船、LNG船の形の比較 ・船は「たくさん・何でも・安く・安全に・効率的に」物を運ぶことができること 	<ul style="list-style-type: none"> ・運ぶものによって船の形が違うんだね。どうしてかな。 ・たくさん運ぶのに都合いいからじゃないかな。 ・効率的に積み込めるからではないかな。 ・見出しに続くように記事にまとめるのだね。 ・一度にたくさん、何でも物を運ぶことができるコンテナ船のおかげで今のような豊かな生活が実現できています。 ・コンテナはガントリークレーンで短い時間にたくさん積み込んだり、積み下ろしたりできるので効率的に物を運ぶことができます。そのため欲しいものがすぐ手に入ります。 	<p>○コンテナ船とその他の専用船の形を比較させ、「どうして運ぶものによって形が違うのか」問うことで、本時の学びを活用しながら「たくさん・何でも・安く・安全に・効率的に」といった海運の特徴を見出したり、海運に関する問題意識を高めたりすることができるようにする。</p> <p>○「コンテナが世界を変えた！」という見出しに続くような記事として学んだ内容を端的に書きまとめさせることで、コンテナ輸送の働きが人々の生活を支えていることを理解できるようにする。</p>

	<p>・安く物が手に入るのもコンテナ輸送のおかげです。</p>	
--	---------------------------------	--